

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.26

2019年7月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



診療科紹介

脳神経内科

特集

不妊に悩む皆さんへ

部門紹介

予防医学センター

実施報告

ふれあい看護体験を開催して

講演会

案内

マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

お知らせ

夢に向かって
チャレンジ!



「神経内科？、脳神経内科？、 脳神経科？」

脳神経内科部長 伊藤 雅史

平成31年4月より当院に赴任しました伊藤雅史と申します。3月まではNHO宇都宮病院にて12年間地域医療に携わってまいりました。当院ではこれまで、脳神経関係は脳神経外科の先生達が、脳神経外科系救急疾患に限らず、脳神経内科領域の疾患まで支えてこられてきましたので、専門医として少しでもお役に立てられればと思っております。

標榜診療科名の変更

まずは当科の標榜名についてですが、平成29年9月16日開催の日本神経学会理事会にて、学会として標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」に変更することが決定されました。わが国で「神経内科」の標榜が認可されたのは1975年です。心療内科や精神科と混同されることがある一方、脳卒中や認知症などの^(※1)「コモンディーズ」を専門的に診療する科であることが広く知られていない事が今回

の変更に至った理由の一つだそうです。

獨協医科大学病院神経内科も標榜名変更となりましたので、当院も、学会、大学病院にならって脳神経内科とすることとなりましたので周知をよろしくお願いいたします。しかし、実は名乗っている自分が一番しっくりきていませんので、皆さんも呼びやすい呼称で呼び下さい。

たった1人の脳神経内科医として

前病院では、神経難病、認知症疾患を中心に診療してまいりました。当院は救急病院ですので、髄膜炎などの感染性疾患、てんかんのような機能的疾患、神経難病の誤嚥性肺炎などの合併症管理、外来だけではなく入院中の患者さんの認知症診断・対症療法、神経難病の診断などを行いたいと思えますが、脳神経外科の先生達の助力として脳血管障害診療、他の内科の先生達とともに老年診療にも携

わってまいりたいと思えます。たった1人の脳神経内科です。で、脳神経外科、他の内科系、外科系の先生達のお力が必要となることになるかと思いますが、当院にとって、そして地域にとって必要とされるよう努力してまいりたいと思えます。よろしく願います。

(※1) コモンディーズ：日常的に高頻度で遭遇する疾患、有病率の高い疾患



不妊に悩む皆さんへ

産婦人科外来看護師 相馬みどり

現在、日本産科婦人科学会に登録のある体外受精実施施設は、全国に約600施設あります。体外受精治療が始まってから40年以上経過し、これまでに48万3千人の赤ちゃんが生まれたと発表されています。近年の年間に産まれてくる赤ちゃんのうち、20人に1人が体外受精児であり、不妊治療において体外受精はとても大切な治療であると言えます。

安心して診察が受けられる環境と一日でも早く治療を始めよう

「なかなか妊娠しないけれど、医療機関へ行くのは抵抗がある。どんな検査や治療があるのか分からなくて不安。不妊について相談したいけれど、何を話したらいいのかわからない。夫婦の間でも相談しにくいことがある。医師から専門的な情報を聞きたい。」などなど、個々で考え、悩むことは沢山あることでしょう。また、医療機関に一步踏み出すことは、とても勇気がいることだと思います。今、5組に1組のカップルが不妊に悩んでいると言われています。早く相談しておけば良かったと思うことがないよう、医療機関で医師や看護師と共に今後について話してみませんか？

不妊外来・不妊治療教室・体外受精教室の開催

那須赤十字病院では、規模は小さいながらも、産婦人科外来において、



担当医師 左・吉政佑之医師
右・小川誠司医師
外来看護師のみなさん



顕微鏡授精を行う胚培養士

不妊に悩むカップルを対象とする不妊外来があります。産科もあるため、不妊治療から妊娠・出産・産後まで、継続して管理できる施設であり、患者さんが安心して診察が受けられる環境を目指しています。

不妊外来は、2019年4月から配属となった生殖医療担当医師2名と、^(※1)胚培養士3名、不妊カウンセラー2名、看護師4名で構成され、一般不妊治療から体外受精治療まで行っています。また、月に一度、土曜日

に一般不妊治療教室・体外受精教室を開催しています。詳細は那須赤十字病院ホームページをご覧ください。

私たちは、患者さんの個々に応じた治療を心がけ、悩みや不安を話せる環境を整え、患者さん自身が納得した治療を受けられるよう支援していきたいと考えています。

(※1) 胚培養士…人工授精や顕微鏡授精などの体外受精の操作を行う医療技術者

一般不妊治療・体外受精教室 開催のお知らせ(要予約)

開催日時…

第1または第3土曜日(毎月1回)
10:00から12:00(受付9:50)

※開催日程はホームページまたは
予約受付でご確認下さい。

問い合わせ申込み

那須赤十字病院

産婦人科外来予約係

☎070-5081-0117(直通)

受付時間 月～金(祝日を除く)

9:00～11:30 12:30～16:30

当院に通院されていない方の参加も
大歓迎です。



ようこそ、予防医学センターへ！

第二呼吸器外科部長兼予防医学センター部長 梅津 英央

予防医学センターの役割

「プラタナス」を手に取り、この記事をご覧の皆様、こんにちは。

健診部・予防医学センターの梅津英央と申します。

当部門では、地域・企業の方々を対象とした、一日人間ドック・各種健康診断等を行っております。

受診される方は30歳代から70歳代と非常に幅広い年齢構成となっております。

やはり、年齢が上がるに従い、高血圧症・脂質異常症等のいわゆる「生活習慣病」とされる疾患をお持ちの方も増えていきます。そのような方々には、かかりつけの先生もいらっしゃると思いますので、当部門で行った検査結果については、十分に日常診療に活かして頂きたく、健診受診時の診察の際にも「かかりつけの先生に診て頂いて下さいね。」とお伝えしています。

検査結果は過去のものと比較して、今後どうすればより良い治療に繋がるかの重要な資料になりますし、隠れているものを見つける事の出来るきっかけにもなりますので、様々なことにご利用いただければと思います。

特定健診と特定保健指導で「脱メタボ!!」

「特定健診」という言葉を最近よく耳にしませんか？

特定健診は、生活習慣病予防の為にリスクを早めに発見することに着目した健診で、健康保険に加入する40歳以上のすべての方に1年に1回以上の受診が義務づけられています。特定健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクがある方に対しては、特定保健指導として、受診者にあつた健康づくりの方法を医師・保健師・管理栄養士・理学療法士などの専門家が一緒に考え支援していきます。

ライフスタイルにあつた、無理のない計画を立て、よりよい生活習慣を身に付けられるようサポートさせていただきます。

安心して受診して頂くために。

予防医学センターでは、受診者の方が安心して検査を行って頂く為に、「気持ちの良いエスコート・検査・診察」を常に心がけています。

近年、早期発見・早期治療の為に、予防医学への感心が高まり多くの方が受診されます。スタッフ一同、お身体を大事にする皆様の気持ちに寄り

添い、健康への不安や改善の力になれるよう努めて参ります。

予防医学センタースタッフ一同



診察中の梅津英央先生



健診部スタッフの皆さん

ふれあい看護体験を開催して

看護師長 清水 美子

近隣の高等学校より3年生42名の参加
毎年5月12日は「看護の日」であり、同日を含む週を「看護週間」と言い、全国各地で看護イベントが行われています。当院では、5月18日(土)に第29回目の「ふれあい看護体験」を実施し、近隣の高等学校8校から3年生42名が参加されました。

参加者は、まず、看護師が実際に着用している白衣に着替え、当初少し恥ずかしそうな笑顔をみせていましたが、髪を束ね靴を履き替えた頃には徐々に緊張感が表情に表れてきました。そして、白石病院長からひとりひとりへ一日看護師としての委嘱状が手渡されました。

病院見学と看護体験を実施

午前中は、11班に分かれ病院内見学と看護体験を行いました。病院内見学では、4つの病棟とヘリポートを見学し、院内に沢山の科があることや病棟毎の雰囲気の違いに気付いたようでした。

看護体験では、11の病棟で患者さんに合わせたケアの準備をし、手浴・足浴・血圧測定・授乳・赤ちゃんの入浴などを体験しました。手浴・足浴では、患者さんへ「お湯は熱くありませんか」と声を掛けながら行い、「気持ちいい、ありがとう。」と喜びのお言葉を頂き、参加者からはうれしそうな表情が見られました。

午後は、若手の看護師5名から「こ

ろに残った看護」の発表を行いました。「笑顔や挨拶の大切さ」、「患者様の思いを傾聴し、どのような看護が最善なのかを考えること」、「言葉掛けだけではなく、手を触れることで患者様の苦痛を軽減できること」、「患者様から沢山の勇気や頑張る力を貰える看護師の仕事に、やりがいを感じていること」などがメッセージとして伝えられました。参加者が感動し、涙する場面も見られました。

その後は、高校生からの質問コーナーとなり、大学と専門学校の違いや学生の時に大変だったことなどが質問に挙がりました。参加者は看護師からの説明を熱心にメモを取る姿が印象的でした。

看護師になりたいと決意を新たに

今回の体験を通し、多くの学生が「看護師になりたい」と決意を新たにしました。看護の心は時代が変わってもいつまでも変わることはありません。おそらくその看護の心を感じることができたのだと思います。これからも夢に向かってチャレンジを続けていけることを願っています。

今回、参加して下さった高校生の皆様、ご支援して下さいましたご家族様・先生方に深く感謝致します。ありがとうございました。

看護師より血圧測定の指導。



足浴の実施では患者さんから喜びの言葉を頂きました。



白石院長より一日看護師の委嘱状が渡されました。



ヘリポートの見学は景色にびっくり。

講演会開催のお知らせ

那須赤十字病院第12回がんの市民公開講座

那須赤十字病院では、下記の日程でがんの市民公開講座を開催します。

日 時 7月20日(土)午後1時30分から3時30分
 場 所 那須赤十字病院マイタウンホール
 内 容 体験談 がん患者と家族の会「ピアサポート那須」の会員
 講演「いのちのレッスン」～人生の最終章を生きぬく処方せん～
 ふじ内科クリニック(山梨県) 院長 内藤いづみ 先生

定 員 200名

入 場 無料

共 催

那須赤十字病院

がん患者と家族の会「ピアサポート那須」

後 援

那須郡市医師会

問合せ先・申込先

那須赤十字病院 がん対策推進室

TEL 0287(23)1122 内線3517

FAX 0287(23)3004



大田原市健康長寿都市推進委員会主催による講演会が当院の医師・看護師が講師となり開催されます。

第1回健康セミナー

自分で守ろう 自分の心臓

日 時 7月31日(水) 午後1時30分から3時30分

場 所 那須野が原ハーモニーホール(大ホール)

大田原市本町1-2703-6 TEL 0287-24-0880

定 員 1,100名 ※定員数を超えた場合には、入場を制限する場合があります。

入場無料 申込み不要

講師▼

那須赤十字病院 循環器内科部長

景山倫也 先生

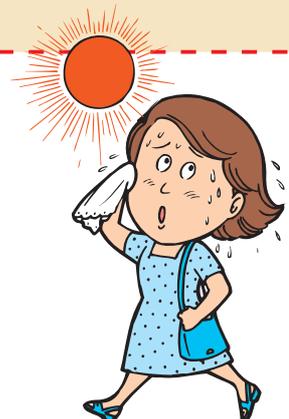
那須赤十字病院 慢性心不全看護認定看護師

佐藤晴美 看護師



熱中症予防

- ・屋外は勿論のこと、室内でもこまめに水分を摂りましょう。
- ・のどが渇いてなくてもこまめな水分補給をしましょう。(30分に1回程度が目安)
- ・水分補給に適する飲み物は水、お茶、麦茶類です。
(甘い飲み物はお勧めしません。)
- ・大量に汗をかいた時は、経口補水液など塩分を含んでいるものを摂りましょう。



3月 大規模災害多数傷病者受入訓練

3月10日(日)

那須町を震源とする地震が発生し、多数の傷病者が発生したという想定で、院内職員を中心とし災害対策本部、傷病者の受入れ及び救護活動の訓練を実施しました。

今回の訓練はスムーズな傷病者受入れを行い、院内体制の確立、その内容を災害時対応マニュアル等に反映させることを目的としています。

折りたたみ歩行車3台の寄贈

那須赤十字病院後援会/3月28日(木)

那須赤十字病院後援会より、昨年度は折りたたみ歩行車3台が寄贈されました。今回の寄贈品は2カ所の病棟、リハビリ室で使用いたします。現在の後援会の会員数は法人140団体、個人209名です。公的医療機関として病院が適正かつ円滑に運営されるよう御支援いただいております。

4月 厚生労働大臣からがん診療連携拠点病院に指定(更新)されました。

4月1日(月)

我が国のがん対策については、2016年4月に改正施行された「がん対策基本法」の規定に基づき、定期的に更新されている「がん対策推進基本計画」(2018年7月)により、総合的計画的に推進されています。

がん診療連携拠点病院に関しては、全国どこでも質の高いがん医療を提供できるよう、がん医療の均てん化を目指し、医療圏毎に整備されています。

当院におきましても、2018年7月に施行された「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、専門的ながん診療機能のさらなる充実を図り、地域のみなさまに、質の高いがん診療が提供できるようこれからも努力してまいります。

今後とも当院へのご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

5月 野外救護訓練

新人職員47名参加/5月30日(木)

蛇尾川緑地公園にて日本赤十字社栃木県支部、那須赤十字病院救護班参加の下、総勢70名で実施されました。この訓練の目的は新人職員への救護の意識付けが目的で毎年実施されています。パイプtentや簡易ベッドの組立、基礎行動と暑い中訓練を行いました。



簡易ベッドをエントランスホールに設置し治療を行いました。



玉木会長から白石院長へ目録が贈られました。



救急車のストレッチャーの使い方を取得中

病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

■掲載位置

- A: 全ページ左側の病院が指定する場所。
- B: 全ページ下部の病院が指定する場所。

■掲載寸法

A 枠: 縦70ピクセル×横220ピクセル
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

B 枠: 縦70ピクセル×横230ピクセル
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

■募集枠

A 枠: 3

B 枠: 4

■掲載料金

A: 15,000円/枠/月

B: 10,000円/枠/月

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>



がんのつどい

7月6日(土)	「芸術療法」臨床心理士 会議室1・2 *10:00~12:00
8月3日(土)	フリートーク 会議室1・2
9月7日(土)	「食事について」管理栄養士 会議室1・2

今月の表紙



5月に開催された「ふれあい看護体験」では赤ちゃんの授乳・赤ちゃんの入浴体験も体験ができました。

編集後記

溶けてしまいそうな暑い夏です。

皆さん、体調管理には十分注意して乗り切りましょう。

「栄養・休養」大切ですよ。(栄養課 M・E)

献血に行こう！

「血液を確実にとおとけするために」
～あなたの善意が患者さんの
尊い命を救います～

日時: 令和元年 8月 23日 (金)

10:00 ~ 16:00

(12時前後から1時間程度休憩をとらせて
いただきます)

場所: 那須赤十字病院 時間外入口付近(献血バス)

問い合わせ:

那須赤十字病院 社会課

TEL: 0287-23-1122(代表)

400mlの献血のご協力をお願いします。

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください！

抽選で3名様に「CroKuma 救護服ぬいぐるみ」
「CroKuma ナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」を
プレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご
応募ください。

●応募先

郵 送 / 〒324-8686 大田原市中田原 1081-4

那須赤十字病院 総務課

プラタなす第26号 プレゼント係

FAX / 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第26号 プレゼント係」

メール / nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第26号 プレゼント係」

●応募締切り 2019年7月31日(水)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせて
いただきます。

那須赤十字病院

基本理念

日本赤十字社

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくり
ます。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につ
くします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.26

発行日 2019年7月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷